MITSUBISHI

三菱ブルーレイディスクレコーダー

形名
DVR-BF2000

このガイドでは、ご購入後の準備完了後、すぐにご使用いただく方のために、最低限の基本操作について説明しています。
くわしい説明については、取扱説明書のそれぞれの説明ページをごらんください。

なお、本機を正しく安全にお使いいただくため、お使いになる前に必ず取扱説明書の「安全上のご注意」をお読みください。

画面表示の細部や説明文、表現、ガイド、メッセージの表示位置などは、本書と製品で異なることがあります。
本書で例として記載している各画面の内容は説明用です。
p. は取扱説明書の参照ページです。

前の画面に戻るときは、戻る を押す

1. 番組をHDD(ハードディスク)に予約・録画してみましょう p.82

(例) 現在、2008年9月19日(金)午後3時15分。
番組表を使って、本機に内蔵されているHDD(ハードディスク)に、今日放送の地上デジタル放送のドキュメンタリー番組を録画予約するとき。

準備
- テレビの電源を入れ、テレビの入力切換を本機を接続した入力に切り換える
- 本機の電源を入れる

1 番組表を表示する

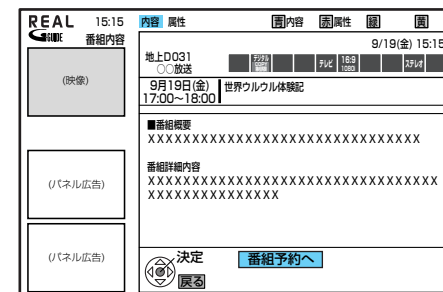
2 予約する番組の放送の番組表に切り換える

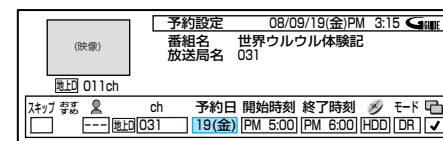
地上‥‥‥地上デジタル放送を表示するとき。
BS ‥‥‥BSデジタル放送を表示するとき。
CS ‥‥‥110度CSデジタル放送を表示するとき。
押すたびに、CS1↔CS2が切り換わります。
アナログ‥地上アナログ放送を表示するとき。

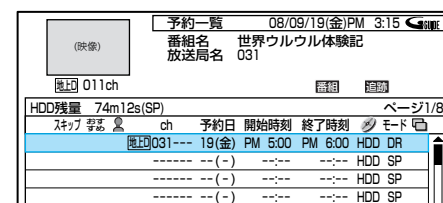
3 予約する番組を選び、決定する

別の日の番組表を見るときは、

- 選んだ番組の番組内容画面が表示されます。

4 "番組予約へ"が選ばれているので、そのまま決定する

- "予約設定"画面が表示されます。

5 予約内容を確認し、確定する

毎週/毎日録画をするときは
を押して"予約日"に希望の表示(毎日、月ー土、毎週 土など)を表示します。

- "予約一覧"画面が表示されます。

6 予約の設定が終わったら、通常画面に戻す

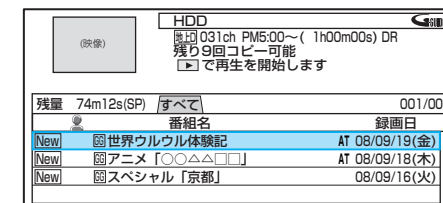
戻る

- 本機を使用しないときは、電源を切ることをおすすめします。(電源が入った状態でも予約の録画は実行されます。)

2. 録った番組を見てみましょう p.96

(例) 左の 1. で録った番組を見るとき

準備
- テレビの電源を入れ、テレビの入力切換を本機を接続した入力に切り換える
- 本機の電源を入れる

1 HDDを選ぶ

2 再生リスト画面を表示する

3 再生したい番組を選ぶ

リストが2ページ以上あるときは、
前 (前ページ)　次 (次ページ)

4 再生を始める

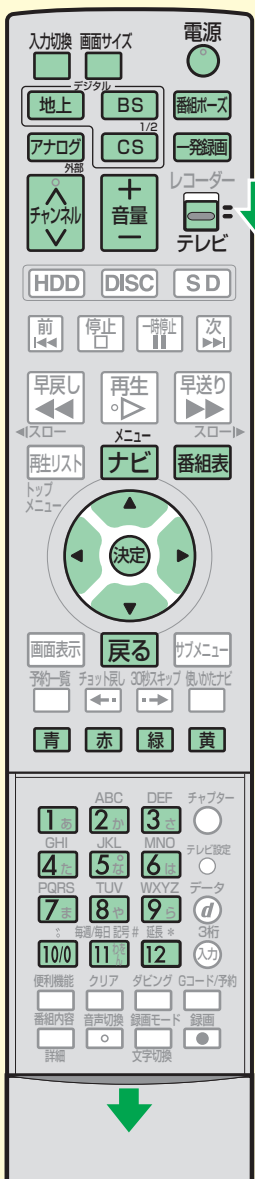
5 再生を終わるときは

番組の本編だけを再生するときは(オートカット i 再生) p.102

再生するときは、再生リスト画面を表示して"AT"が付いた番組を選んで[決定](または[サブメニュー])ボタンを押し、サブメニュー画面から"オートカット i 再生"を選んで決定します。
(オートカット i 再生できるのは、"AT"が付いた番組だけです。)

PRINTED IN JAPAN A

872C515A10

テレビ操作用のボタン

本機を操作するとき

前の画面に戻るときは、戻るを押す

本機のリモコンでテレビを操作する場合は p.48

リモコンのスイッチを[テレビ]にすると、本機のリモコンでテレビの操作ができます。

- 当社(三菱)以外のテレビをお使いの場合は、テレビメーカーの設定を行ってください。p.48
- [番組ポーズ]、[一発録画]ボタンは、当社製REALINK(リアリンク)対応テレビと組み合わせる場合にだけ有効となります。
- テレビによっては、操作できないボタンがあります。

3. 録った番組をディスクに残すときは p.130

(例) HDDで再生中の番組をブルーレイディスクにダビングするとき

準備
- テレビの電源を入れ、テレビの入力切換を本機を接続した入力に切り換える
- 本機の電源を入れる

1 本機でダビングが可能なブルーレイディスクを入れる

1. ディスクトレイを開ける トレイ開/閉 (本体前面)
2. ディスクのラベル面を上にして、ディスクトレイの上に置く
3. ディスクトレイを閉める トレイ開/閉 (本体前面)

新品(未使用)のディスクを入れたときは、このあと初期化(フォーマット)画面が表示されます。p.72

で"フォーマットする"を選び、決定してください。

- ブルーレイディスクには、BD-RE(繰り返し録画用)とBD-R(1回録画用)があります。p.68

2 おもて面の 2. の手順1~4を行って、ダビングする番組を再生する

3 ダビング を押す

4 確認メッセージの内容を確認し、それでよければ "はい" を選び、決定する

ダビング中の本体表示

- 手間なしダビングが始まり、再生中の番組が番組の最初から終わりまでダビングされます。

「1回だけ録画可能」番組、「ダビング10」(コピー9回+ムーブ1回)番組について

- 「1回だけ録画可能」番組をダビングする場合は、「ムーブ(移動)」となり、ダビング後にHDDの元の番組は削除されます。
- 「ダビング10」(コピー9回+ムーブ1回)番組をダビングする場合は、9回目までは「コピー」となり、ダビング後もHDDの元の番組はそのまま残ります。10回目は「ムーブ(移動)」となり、ダビング後にHDDの元の番組は削除されます。

くわしくは、p.75をごらんください。

4. 不要になった番組を削除するときは p.116

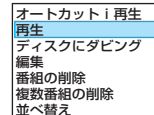
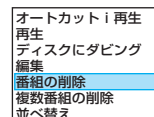
(例) 見終わった番組を削除するとき

準備
- テレビの電源を入れ、テレビの入力切換を本機を接続した入力に切り換える
- 本機の電源を入れる

1 おもて面の 2. の手順1~3を行って、削除する番組を選ぶ

- 一度削除された番組は、元に戻せません。録画内容をよく確認してから削除してください。

2 サブメニュー画面を表示する

サブメニュー または 決定

3 "番組の削除" を選び、決定する

4 確認メッセージの "はい" を選び、決定する

- 番組が削除されます。

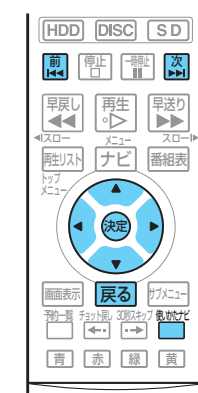
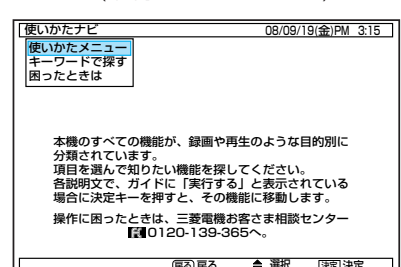
5 削除が終わったら、通常画面に戻す

戻る

- 番組を削除したあとの残量時間は、p.115。

やりたいことを探したり、困ったときに調べたい場合は (使いかたナビ) p.172

操作で困ったときやわからないことがあったときなどに、使いかたナビ を押して"使いかたナビ"画面を表示させると、操作方法や対処方法、解説などをテレビ画面で確認することができます。

"使いかたナビ"の操作で使うボタン

"使いかたナビ"画面(最初のメニュー画面)

REALINK(リアリンク)機能を使う場合は p.156

REALINK

当社製のREALINK(リアリンク)対応テレビとHDMIで接続すると、REALINK機能を使うことができます。

- 当社製REALINK対応テレビのリモコンで、本機の再生/早送り/早戻しや、メディアの切り換えなどの操作ができます。
- 番組ポーズ、一発録画をすることができます。
- テレビの番組表を使って、本機のHDDに直接録画予約することができます。
- テレビの電源入/切に連動して、本機の電源も入/切させることができます。(テレビ電源オン連動/テレビ電源オフ連動)
- 本機で再生を始めたり、本機の番組表や予約の画面などを表示すると、テレビの入力切換が自動的に本機を接続した入力に切り換わります。
- 本機の電源を切ると、テレビの電源も連動して切ることができます。

取扱説明書を読んでもどうしても使いかたがわからないときや、故障かな?と思ったときは

三菱電機お客さま相談センター 0120-139-365 (無料)

携帯電話・PHS・IP電話の場合 03-3414-9655 (有料)
FAX 03-3413-4049 (有料)

ご相談対応 平日 9:00~19:00 / 土・日・祝・弊社休日 9:00~17:00 左記以外の時間は受付のみ可能です